

三方町 菅湖で発見された

珍鳥 アカハシハジロ

林 武 雄

三方五湖のうち菅湖は古くから禁猟区（現在は鳥獣保護区）になっており、冬期はたくさんのカモ類が群集します。さいきんになって、久々子湖、日向湖が保護区となり、三方湖も銃猟禁止区域となりましたが、水中のプランクトンや餌になる藻が多い菅湖には多数のカモ類やカイツブリが群集します。ハンターの銃口からのがれて避難するカモたちにとってここは安全地帯であるわけですが、野鳥の会などの関係者にとってもまたとない観察場所になっています。

去る12月28日、東京から来た野鳥の会のグループの人たちがたくさん（多いときは3000羽以上もいます）の中に1羽の珍しいカモを発見しました。大きさはヒドリガモぐらいで頭は橙黄色、くび、胸は黒、背は褐色、くちばしは赤と、どう見ても日本の鳥類図鑑にはないものです。早速東京に帰って調べたところの鳥はアカハシハジロというハジロ鴨の一種であることがわかりました。ヨーロッパの一部や中部アジアの一部に分布しているそうですが、外国の文献でも群しい記載がなく、珍しい部類に入っているそうです。

もちろん日本では最初の記録で日本の鳥の目録に1種追加されることになりますがどうして迷い込んできたものか不思議なくらいです。

私は1月3日現地に行き、同行の2人と観察し、撮影を試みましたが、数百羽の中の1羽ですからもなかなか近寄ることができず証明できるものは撮られませんでした。ニュースをいちはやく知ってかけつけた東京や名古屋の野鳥の会の人達と、セルロイドのおもちやのような美しいアカハシハジロをいつまでも望遠鏡で観察していました。その後私は1月9日、11日、12日と3回現地で調査し、その都度、東京や大阪、名古屋から来た野鳥の会の人達にも会いましたが、遂にだれも発見できませんでした。

1月9日には、近くの水面で密猟者が銃撃するのを目撃し、数百のカモはほとんど飛び去って行きましたが、この腹立たしさは何とも言葉にいいようがありません。

日本最初の記録アカハシハジロが再び元気に姿を見せてくれることを祈りながら、雪のちらつく菅湖の夕暮を背に帰途につきましたが、幻の鳥のようなあの美しさはいまも脳裡に、深くきど

まれています。